

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
疾患・症状別看護Ⅰ	2年次 前期	必修	講義	1単位(30時間)	山本 恵美子 ※
授 業 概 要					
<p>がんと告知され、がん薬物療法・放射線療法を受けながら、がんと共生する対象と家族の状況に応じた看護を学ぶ。</p> <p>生活行動からみる、「恒常性維持のための流通機構」・「息をする」に障害をもつ対象の病態を理解し、対象と家族の状況をふまえて、シミュレーション学習を通して、急性期から退院後まで必要な看護について学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. がんを患う対象と家族の状況に応じた看護について説明する。</p> <p>2. 「恒常性維持のための流通機構」に障害をもつ対象の特徴を理解し、対象と家族の状況に応じた看護について説明する。</p> <p>3. 「息をする」に障害をもつ対象の特徴を理解し、対象と家族の状況に応じた看護について説明する。</p>					
実務経験のある教員					
山本 恵美子：がんを患う対象と家族および呼吸・循環に障害をもつ対象と家族に対する看護について、臨床での経験をふまえて教授する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	<p>1. がんを患う対象の看護</p> <p>1) がんの告知を受けた対象と家族の看護</p> <p>2) がん化学療法</p> <p>3) 放射線療法</p> <p>2. 「恒常性維持のための流通機構」に障害をもつ対象の看護 急性期から退院後の自己管理の支援まで</p> <p>1) 急性冠症候群</p> <p>2) 慢性心不全</p> <p>3. 「息をする」に障害をもつ対象の看護 急性期から退院後の自己管理の支援まで</p> <p>1) 慢性呼吸不全(慢性閉塞性肺疾患)</p>				山本 恵美子 ※
学 習 方 法					
講義、演習、グループワーク					
評 価 方 法					
科目修了試験、レポート					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
<p>[教科書]</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [3] 循環器 吉田俊子 他著 医学書院</p> <p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 [2] 呼吸器 浅野浩一郎 他著 医学書院</p> <p>系統看護学講座 別巻 がん看護 小松浩子 他 著 医学書院</p> <p>看護過程に沿った対症看護第5版 高木永子監修 学研</p>					